

【文献参考リスト】2024年4月～2025年3月刊行 発行年月順

	著者	著書	出版社	発行年月
1	古庄 純一	境界知能: 教室からも福祉からも見落とされる知的ボーダーの人たち	合同出版	2024年4月
2	間嶋 健	介護老人保健施設の退所支援におけるソーシャルワーク: エビデンスを活用する実践	中央法規出版	2024年4月
3	吉田 仁美	障害者ジェンダー統計の可能性: 実態の可視化と課題の実証的解明をめざして	法律文化社	2024年5月
4	小櫻 義明	「高齢期」を私たちはどう生きるか	日本医療企画	2024年5月
5	牧田 俊樹	「障害とは何か」という問いを問い直す——「事実」から「有用性」に基づいた障害定義の戦略的・実践的使用へ	生活書院	2024年5月
6	原田 とも子	ソーシャルワーカーの組織体制構築サポート・ブックレット	日本ヘルスケアテクノ	2024年6月
7	矢内 琴江	性差別を克服する実践のコミュニティ——カナダ・ケベック州のフェミニズムに学ぶ	明石書店	2024年7月
8	村上 靖彦	すき間の哲学: 世界から存在しないことにされた人たちを扱う	ミネルヴァ書房	2024年7月
9	石黒 慶太	知的障害のある成人男性の性的欲求と支援——語りと連帯が変えてゆく、まわりの人々との関係	明石書店	2024年7月
10	小林 繁	障害をもつ人の「自立」と人権: 学びと就労のために	現代書館	2024年8月
11	横井 義広	母子生活支援施設の研究	文化書房博文社	2024年8月
12	小沼 聖治	ソーシャルアクション・モデルの形成過程: 精神保健福祉士の実践を可視化する	法律文化社	2024年8月
13	三浦 耕吉郎	自然死(老衰)で逝くということ—グループホーム「わたしの家」で父を看取る	新曜社	2024年9月
14	矢ヶ部 陽一	ひきこもりの福祉ニーズを探る: 中高年齢期に至る生活困難を捉えるアプローチ	川島書店	2024年9月
15	上田 遥	食の豊かさ 食の貧困—近現代日本における規範と実態—	名古屋大学出版会	2024年9月
16	田中 秀和	公的扶助研究運動における当事者性の課題: 生活保護ソーシャルワーカーと公的扶助政策の狭間で	みらい	2024年9月
17	伊藤 周平	児童福祉・保育の法と権利保障	信山社出版	2024年9月
18	二木 立	地域包括ケアと医療・ソーシャルワーク	勁草書房	2024年9月
19	片山 ゆき	十四億人の安寧: デジタル国家中国の社会保障戦略	慶應義塾大学出版会	2024年9月
20	鄭 平陽	絵本の読み合わせを活用した心理支援—児童養護施設の児童と職員における事例から—	晃洋書房	2024年9月
21	大川 啓	「慈善」と「不穏」の近代社会史	有志舎	2024年10月
22	大石 剛史	ケアリングコミュニティの理論: 社会福祉の新しい地平を拓く地域福祉のメタ理論	学文社	2024年10月
23	内山 智尋	中国の福祉コミュニティ形成——ガバナンスと住民参加の視点からみる高齢者ケア	明石書店	2024年10月
24	堀部 要子	特別な教育的ニーズのある児童を含む全ての児童への支援	ジアース教育新社	2024年10月
25	植田 寿之	物語で学ぶ 地域共生社会をつくるソーシャルワーク	創元社	2024年10月
26	今井 慶宗	戦争犠牲者に対する援護に関する研究	大学教育出版	2024年10月
27	陳 勝	当事者が語る「貧困とはなにか」参加型貧困調査の可能性	北海道大学出版会	2024年10月
28	坂口 緑	多文化化するデンマークの社会統合: 生涯学習が果たす役割とその可能性	花伝社	2024年11月
29	森 裕之	地方財政の新しい地平: 「人と人のつながり」の財政学	自治体研究社	2024年11月
30	古川 孝順	社会福祉学の道しるべ: 社会福祉の解体新書を求めて	中央法規出版	2024年11月
31	増井 香名子	DVと子ども虐待のソーシャルワーク 実践を変える視点と方法	日本評論社	2024年11月
32	佐柳 忠晴	児童虐待防止のための保護法制	勁草書房	2024年11月
33	平野 恵久	地域とともに歩む子育て支援——いつ、どこで、誰が、なにを支援するか	明石書店	2024年11月
34	丹羽 國子	ICFと日本の健康福祉	社会書メディアコンサルティング	2024年12月
35	山本 恒雄	子ども虐待・子どもの安全問題ソーシャルワーク——マネジメントとアセスメントの実践ガイド	明石書店	2024年12月
36	大澤 広晃	善意の帝国—イギリスのフィランスロピーと南アフリカ—	名古屋大学出版会	2024年12月
37	福島 豪	障害年金の基本構造 障害年金の日独比較法研究	日本評論社	2024年12月

	著者	著書	出版社	発行年月
38	児玉 真美	障害のある人の親がものを言うということ——医療と福祉・コロナ禍・親亡き後	生活書院	2024年12月
39	岩田 正美	私たちの社会福祉は可能か: 社会福祉をイチから考え直してみる	有斐閣	2024年12月
40	山西 辰雄	渋沢栄一に学ぶ社会福祉事業の源流: 翔べ 伸びよ 思いの裾野を広げて	川島書店	2024年12月
41	小川 英彦	障害児教育福祉史の点描 関連領域の検討	三学出版	2024年12月
42	須藤 八千代	ソーシャルワークとアブダクション——未来志向の知がもたらす実践	ヘウレーカ	2025年1月
43	三浦 耕吉郎	環境と差別の社会学—フィールドとの〈対話〉から構造的差別へ—	晃洋書房	2025年1月
44	宮本 恭子	日本社会の変容とヤングケアラーの生成—地域の実態調査から支援の方向性を考える—	晃洋書房	2025年2月
45	加藤 昭宏	社会的孤立へのコミュニティソーシャルワーク実践: 地域福祉推進の羅針盤	ミネルヴァ書房	2025年2月
46	國重 智宏	精神医学ソーシャルワーカーの「かわり」論——長期入院精神障害者の退院支援における関係を問う	明石書店	2025年2月
47	小林 理	社会的養護における人材育成の現状と展望: 子どもに関わる専門職の働きやすい職場環境と研修のあり方	中央法規出版	2025年2月
48	渡部 聡子	権利としてのボランティア——ドイツ「参加政策」の挑戦	岩波書店	2025年2月
49	鈴木 良	知的障害者の施設解体の試み: 障害者自立支援法制定期における自立規範の変容と再編	現代書館	2025年2月
50	五十嵐 彰	可視化される差別—統計分析が解明する移民・エスニックマイノリティに対する差別と排外主義	新泉社	2025年2月
51	松田 晋哉	公衆衛生政策学の考え方 - DPC、地域包括ケアを中心に	勁草書房	2025年2月
52	齋藤 雅哉	戸惑いと生活を回す——ダウン症児の母親たちの「生活経験としてのケア」	生活書院	2025年2月
53	白取 耕一郎	自治体における「負の政策波及」: 障害者差別解消条例とホームレス支援政策はいかに抑制されたか	法律文化社	2025年2月
54	増淵 あさ子	軍事化される福祉 米軍統治下沖縄をめぐる「救済」の系譜	インパクト出版会	2025年2月
55	堀場 純矢	児童養護施設の労働問題: 子ども・職員双方の人権保障のために	ミネルヴァ書房	2025年3月
56	谷口 純世	社会的養護を必要とする子どもと権利擁護: 意図的支援の積み重ねによる権利を守る力の体得	ミネルヴァ書房	2025年3月
57	足立 真理	イスラームの慈善の論理と社会福祉——現代インドネシアにおけるザカートの革新と地域の主体	明石書店	2025年3月
58	丸岡 稔典	「障害理解」再考—他者との協働に向けて	晃洋書房	2025年3月
59	山岸 倫子	ソーシャルワーカーズモノローグ—ダイアログのための覚書	生活書院	2025年3月
60	小磯 明	ヨーロッパの社会保障 イタリア・フランス・ドイツ・オランダ	同時代社	2025年3月
61	中村 努	地方のローカル・ガバナンス: 多元的アクターの協働空間	ナカニシヤ出版	2025年3月
62	宮崎 清恵	ソーシャルワーク実践モデルの開発: ハイリスク新生児への医療ソーシャルワーク	神戸学院大学出版会	2025年3月
63	藤井 常文	かつて、東京に、こんな戦争孤児施設があった 戦後社会的養護の源流をたどる	都政新報社	2025年3月
64	後藤 聡美	当事者性の邂逅から共生へ—多文化社会におけるノンフォーマル教育実践の展開	春風社	2025年3月
65	一瀬 早百合	多様性の時代と変化する子育て事情 ソーシャルワークから考える子育て支援のアップデート	福村出版	2025年3月
66	塩満 卓	ケアの脱家族化: 統合失調症者と親双方の自律を支援するソーシャルワーク	法律文化社	2025年3月
67	早瀬 博典	アメリカ社会科のインクルージョン理念と方略	東信堂	2025年3月
68	近藤 重晴	介護職員に向けたオンラインメンタルヘルスケア研修プログラムに関する研究: 構築・実践・検討	黎明書房	2025年3月
69	大竹 恵子	介護職へのワーク・ライフ・バランス支援—組織風土とマネジメントから考える	晃洋書房	2025年3月
70	伊井 勇	障害のある子どもの放課後と地域福祉 放課後等デイサービスの二面性	クリエイツかもがわ	2025年3月
71	佐藤 惟	人生会議とソーシャルワーク	風鳴舎	2025年3月
72	鈴木 文治	非戦と抵抗の教育: 障害児教育の源流にあるもの	新教出版社	2025年3月
73	児玉 由佳	エチオピア農村社会の変容: ジェンダーをめぐる慣習の変化と人々の選択	昭和堂	2025年3月
74	梶野 光信	ユースソーシャルワーク	生活書院	2025年3月
75	北島 加奈子	障害者の倫理—フーコーからパラリンピックまで	晃洋書房	2025年3月
76	伍賀 一道	雇用と働き方から見た現代貧困論	学習の友社	2025年3月
77	山下 亜紀子	発達障害児の母親ケアラーの生活の苦しみと編み直し	学文社	2025年3月